

## 8 防災行政

### (1) 県総合防災訓練の実施

超大型台風による災害を想定し、防災関係機関と連携した図上訓練を実施。平成 21 年 8 月、県庁で開催した。

### (2) 大規模地震対策の推進

平成 18 年 4 月に策定した「岐阜県地震防災行動計画（平成 18～22 年度）」では、「自助・共助・公助」の考えのもとに、県民、事業者、市町村及び県が、それぞれの役割と責務を着実に果たしていくものとしており、以下の事業を実施した。

#### ア 企業向け地震防災講座の開催

県内 2 カ所で開催。

#### イ 啓発活動の実施

地震体験車の貸出及び地震体験装置が設置してある広域防災センターの活用を図るとともに、地震対応のマニュアル等を記載した啓発パンフレットを作成し広く一般に配布した。

地震体験車利用状況（過去 5 年の利用状況）

	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
利用者数（人）	27,635	30,841	24,080	24,509	23,367

※ 平成 20 年 6 月に新しい地震体験車導入

### (3) 地域における「共助」の推進

平成 20 年 6 月に発生した岩手・宮城内陸地震の教訓等を受け、特に地域における防災力強化に関する政策を重点として、以下の事業を実施した。

#### ア 防災運動会開催の促進

地域の運動会に防災の視点を取り入れた新しい地域防災力向上のイベントを開催し、幅広い世代の人々の防災活動の取組を促進。平成 21 年 10 月、大垣市の自治会で開催。また、恵那市飯坂町町民運動会等の種目の一部として実施。

#### イ 災害図上訓練の指導者養成研修の実施

住んでいる地域の過去の災害発生場所や危険箇所のほか、避難所や要援護者の確認など、地域の防災に関する重要な情報を地域で共有する訓練を促進。平成 22 年 1 月、瑞穂市と関市で実施、参加者 104 人。

### (4) ボランティア活動の活性化

災害時のボランティアを育成するため、災害ボランティアコーディネーター養成講座を実施した。平成 21 年 10 月、11 月、岐阜市で実施、参加者 35 人。

### (5) 伊勢湾台風 50 年事業の展開

東海地方を襲い、岐阜県内にも甚大な被害をもたらした伊勢湾台風の襲来から 50 年の節目の年にあたることから、伊勢湾台風から学んだ教訓を風化させることなく、風水害の恐ろしさや災害への備えの大切さなどを啓発するため、以下の事業を行った。

#### ア 日蘭水シンポジウム 2009 in ぎふの開催

平成 21 年 6 月、大垣市で開催。

- イ 伊勢湾台風 50 年のつどい開催  
平成 21 年 8 月、愛知県名古屋市で開催。
- ウ 伊勢湾台風 50 年岐阜県防災フォーラムの開催  
平成 21 年 9 月、養老町で開催。
- エ 伊勢湾台風災害パネル展の開催  
平成 21 年 6 月～12 月の間、県内 33 ヶ所で開催。